

## 令和6年12月定例会あいさつ

皆さま、おはようございます。

本日ここに、久山町議会12月定例会を招集しましたところ、議員全員の皆さまにご出席を賜り、誠にありがとうございます。

いよいよ2024年も残り1カ月となりました。今年の干支である辰はこれまで陰になっていた部分に光が当たり、大きな成長が遂げられる年を意味していると言われております。今年は本町においても、国土、社会、人間の三つの健康づくりが、町の強み・魅力として広く認識され、飛躍の1年ともなりました。町民の皆さまには、どうか体調にはくれぐれも注意され、令和6年最後の月を心穏やかに過ごしていただき新しい年を迎えていただくことをお祈り申し上げます。

さて、先月行われた久山町長選挙におきまして、町民の皆さまをはじめ、各方面からの温かいご支援、ご厚情を賜り、引き続き、町長職の重責を担わせていただくこととなりました。無事1期目の職責を務めることができましたのも、議員の皆さま、職員の皆さまをはじめ、多くの町民の皆さまのご理解、ご協力のおかげであり、心から感謝を申し上げます。この信頼と期待を深く受け止め、新たな決意と情熱を持って、第4次総合計画に掲げる町の将来像「誰もが生き生きと暮らせる健康田園都市の実現」に向け、全力で取り組んでまいります。

ここで、2期目最初の本定例会において、今後4年間の町政運営に関する所信を

述べさせていただきます。

まず、これまでの4年間を振り返りますと、私たちの社会は、ロシアによるウクライナ侵略、新型コロナウイルス感染症の流行など、大きな変化と試練に直面し、町民の皆さまの生活にも外出制限や物価高騰など、さまざまな面で影響が及びました。1期目はそのような事態に迅速に対応しながらも、長年の懸案事項であった学校施設の大規模改修等に着手し、財政面でも財政調整基金や教育振興基金の積立て、ふるさと応援寄附金の増加、久山町土地開発公社に伴う借入金の完済など成果を出すことができました。

また、未来に向けた新規事業にも積極的に取り組み、小・中学校でのプログラミング教育やてらこや<sup>+</sup>の開校、シニア世代の外出支援「シニアチャレンジ応援事業」、子育て世代が集える「遊具ある公園づくり」等、予定通り進めることができました。

本町の独自の取り組みは、国内外においても注目を浴び、国の各省庁との政策ネットワークや民間企業との事業連携が増加しました。また、まちづくりの成果は、人口増に加え、高齢化率の低下、合計特殊出生率の上昇にもつながり、2050年も人口が減らない自立持続可能性自治体として位置付けられています。しかし、これから日本の人口は急速に減少し、その波は本町にも押し寄せ、人々の持つ豊かさ、価値観が、人口や経済ではなくなる時代がもうそこまで迫っています。そのため、この状況に甘んじているわけにはまいりません。成長を続けている現況下だからこ

そ、これまで培ってきた地域資源や先人たちの思いを大切にしながら、未来に向けた投資と変化をどのように行っていくかが重要となってきます。町民の皆さまに久山町で暮らす豊かさをさらに実感していただく、新たな物差しにし、将来に向けた社会課題の解決にも取り組んでいくことが、さらに町の持続性を高め、未来につながる財産となります。その実現に向け、2期目では、これまで同様に社会で活躍する「人づくり」、町の強みを生かす「仕事づくり」、豊かに暮らせる「健康づくり」の三つを軸に、新たな投資を展開してまいります。

まず一つ目は、社会で活躍する「人づくり」です。

インターネット、A I等の普及により時代は急速に変化しています。小・中学校体育館のエアコン整備を含めた教育環境の整備を図るとともに、I C T教育や英語教育のさらなる充実、そして、算数・数学などの新たな教育プログラムを導入します。また、首羅山遺跡ガイダンスの整備を進め、これまで先人たちが培ってきた伝統や文化を学べる新たな地域学習の場を創出してまいります。

二つ目は、町の強みを生かす「仕事づくり」です。

本町は160万都市の福岡市に隣接しながらも、今もなお、豊かな山林や田園風景が残っています。しかし、農林業の就業者は、1995年から2020年度までの間に約45%減少しており、農地の面積は開発等の影響を含め、10年前に比べ約130ha減少しています。久山町の自然環境を次世代につないでいくことは、これからのまちづ

くりにおいて重要な施策の一つでもあります。そのため、一次産業の維持に向けて、まずは町内で消費する機会、場所を生み出し、新たな価値をつくる久山型循環経済の構築に力を入れてまいります。町内において久山町の農産物等をおいしく食べて、健康な町を未来につなげるプロジェクトを展開し、給食や町内飲食店等での地産地消の推進に加え、食育環境教育にも広げてまいります。このような取り組みは、令和3年5月に国が策定した「みどりの食料システム戦略」に沿ったものであり、年明けから大学や企業等の連携も進めてまいります。

三つ目は、豊かに暮らせる「健康づくり」です。

現在に引き続き、子育て世代からシニア世代までの幅広い世代が、安全・安心に暮らせるサービスの強化を図るとともに、高校生の医療費ワンコイン化やシニア世代の外出機会の創出、幅広い世代が出かけたくなる公園づくりに力を入れ、町内に楽しみを感じる機会を増やしてまいります。特に公園づくりにおいては、町民の皆さまが考え、実現し、運営する今までの遊具等の設置だけではない、つながりを生み出す。新たな公園整備を進めてまいります。

以上が主な取り組み内容です。

最後に、私は1期目を通じて、改めて久山町の魅力やポテンシャルの高さを認識するとともに、それが目に見える形になりつつあることに将来への希望を感じています。次の4年間も町民の皆さまのウェルビーイング（幸福度）の向上を目指して、

さまざまな取り組みに挑戦し、皆さまがもっと笑顔で元気に夢を語れる久山町となるように、これまで以上に尽力してまいる所存です。

引き続き、議員の皆さまをはじめ、町民の皆さんのご理解とご協力を賜りますよう、心からお願い申し上げます、私の所信表明とさせていただきます。

今回、12月定例会に提案いたしますのは、専決処分の承認および久山町教育委員会委員の任命同意、条例の制定、改正ならびに山田小学校体育館空調設置工事、子ども医療費の対象拡大に伴うシステム改修委託料を含む補正予算など14議案でございます。

詳細につきましては、担当課長よりご説明を申し上げますので、ご審議のほどよろしくお願い申し上げます。

令和6年11月29日

久山町長 西村 勝